STEBERCRAFT SERIES LINE-UP

ステバークラフト シリーズラインアップ

ステバー52。

ステバークラフト36スポーツクルーザー。

シドニー郊外にあるステバークラフト本社工場。

ラインアップは7艇
全モデルがフライブリッジを搭載

オーストラリアで常に高い人気を誇っているステバークラフト。同社は、あくまでも高品質なボート造りにこだわり続ける。ハル建造や内装デザイン等、それぞれのエキスパート達による分業、さらに細かい部品すべてを自社製とし、行き届いた管理体制を敷いている。

堅実な建造姿勢に基づいて造られたボートは本国での評価も高く、36フィートモデルがオーストラリアデザイン賞を獲得するなどの実績を誇っている。

シリーズのラインアップは33フィートから52フィートまでのレンジに7艇種を揃える。ただし日本で販売されているのは最小モデルの『33スポーツクルーザー』を除いた6艇種ということになる。各モデルはFB艇であり、多目的用途に応える仕様となっている。

受注発注の生産体制のなかで、特徴は、内装レイアウトとFBのタイプを自在にアレンジできることである。したがって内装に関して言えば同じものは一艇たりともない。オーナーの好みが隅々まで反映されることはこのボートの大きな特徴の一つである。また独特な形状を持つFB（前項インプレッション記事参照）もユニークなものだ。このFBもオーダーメイドを可能としている。例えば、41フィートの艇体に52フィート用のFBを搭載してくれと要求することも出来る。またこのクローズタイプのものが好みでなければ、通常のFB仕様も選べる。

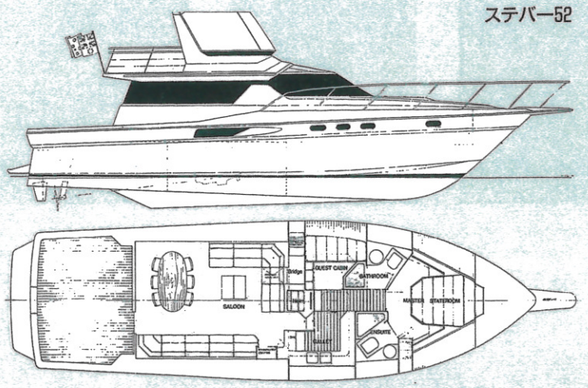
ここまで各モデルの共通点を見てきたが、それぞれの艇の特徴に目を

現在の社長は息子のALAN STEBER氏。

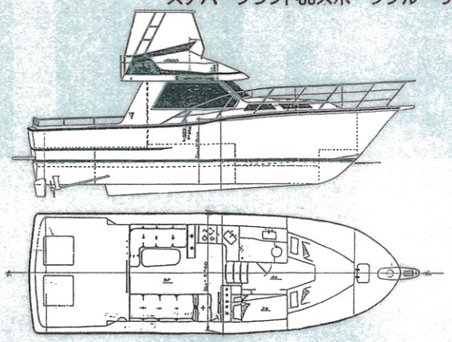
創設者であるBRUCE STEBER氏。

本社工場。

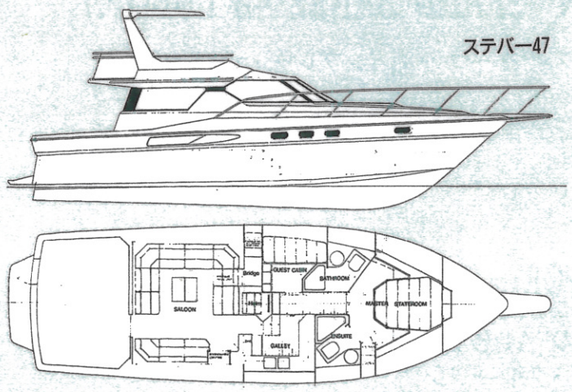
ステバー52



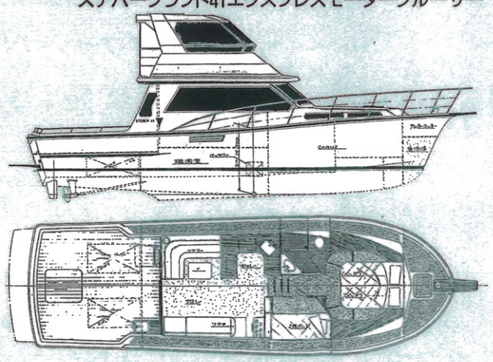
ステバークラフト36スポーツクルーザー



ステバー47



ステバークラフト41エクスプレスモータークルーザー



移したい。

まず36スポーツクルーザーであるが、全長×全幅×喫水／11・00m×3・51m×0・91mの艇体を持つ。このモデルがオーストラリアデザイン賞を受賞し、ステバークラフトの名を広く知らしめたのである。アフトデッキのスペースは40フィートクラスに匹敵するもので、スポーツフィッシングには最適な空間に仕上げている。

この上の41エクスプレスモータークルーザーはインプレッションでお伝えした通りである。

さて、先の36と41フィートモデルには派生モデルである36ゲームフィッシャー、41バーサタイルの2艇がある。こちらは基本的なスペックは同一であるが、よりフィッシング指向に添ったもので、ツナタワーを装着し釣り機能の充実を図っている。

そして今年お目見えするのが、ステバー47、52の2モデル。快適なロングクルーズを楽しめるように建造されたこのモデルは、贅沢さが加味されたラグジュアリークルーザーである。ステバー47のスペックは全長×全幅×喫水／16・10m×4・90m×1・51mとなる。ステバー52との違いは全長差1.5mのみで、アフトデッキのスペースになって現れている。この他のスペックや装備に関しては同一仕様となる。エンジンバリエーションも豊富で、GM6V92TA（500HP）、同じGM8V92TA（735HP）、さらにMAN・D2840LXE（820HP）等から選べる。価格はステバー52が1億6000万円からとなる。

ステバークラフト36スポーツクルーザーの建造風景。

ステバークラフト36スポーツクルーザー。